

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

昨日のドルレアルスポット相場は、対ドルでのレアル買いが再び優勢の展開となり、一時2.90台前半までレアル高が進行。レアル相場は先月20日に3.31台半ばを記録したものの、その後の1ヶ月間で14%近く上昇しており、3月以降のドル買いレアル売りポジションが急速に巻き戻されている。その背景には、汚職スキャンダルを巡って不透明感が強まっていたペトロブラスが決算書を公表したことに加え、経済指標の悪化を受けて米利上げ観測が後退していることも挙げられよう。米国では28-29日の予定でFOMCが開催予定であるが、今回はイエレン議長による会見もなく声明文のみの公表となるため、利上げ時期を示唆するような明確なシグナルが出てくる可能性は低く(FRBが「利上げのタイミングはデータ次第」とのスタンスを維持している以上、足許の軟調な経済指標を考慮すると、利上げ時期はむしろ後ろ倒しになる見通し)、マーケットの注目度も従来ほど高くはない。一方、同時期に開催されるCOPOMでは、8%を超過して推移するインフレ率に対応するため、ブラジル中銀は50bpの利上げに動くと見込まれ、金融政策の相違が短期的にレアルを押し上げている面も指摘されている。

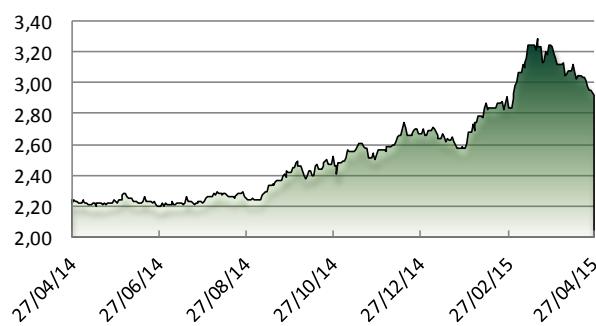
中銀が昨日公表した週次サーベイによると、年末の成長率見通しは1.10%減と2週連続で悪化。また、インフレ率見通し(IPCA)についても前回の8.23%から8.25%へ微増ながら上昇しており、依然としてブラジル経済に高インフレの体質が定着していることが示された。

マーケットデータ

Indicator	Unit	4月24日	4月27日	前日比	3月27日	1ヶ月前比
BRL / JPY Spot	JPY	40,31	40,80	+0,49	36,67	+4,13
USD / BRL Spot	BRL	2,9513	2,9170	-0,0343	3,2497	-0,3327
USD / JPY Spot	JPY	118,99	119,04	+0,05	119,13	-0,09
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index	56.594	55.535	-1.059	50.095	+5.440
CDS Brazil 5yrs (クレジットデフォルトスワップ)	bps	222,8	225,0	+2,2	288,0	-63,0
Brazil 10yrs Gov. Bond	%	12,64	12,59	-0,05	13,24	-0,65
DI Future Jul16 (金利先物)	%	13,59	13,44	-0,15	13,64	-0,20
3 Months US Dollar Libor	%	0,279	0,279	+0,000	0,275	+0,004
CRB Index (国際商品指数)	Index	224,1	224,0	-0,1	215,2	+8,8

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート

